

〔科目名〕 教職概論		〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕
〔担当者〕 佐藤三三	〔オフィス・アワー〕 時間:初回の講義で連絡する 場所:502 研究室		
〔科目の概要〕 学校の教師(教員)がどのような法制度のもとにあるのかなど、「学校」という組織、制度と関連させて、「教職とは何か」、「求められる教員(教師)の資質とは何か」などを考えなら法制度の観点も加えて講義する。また、現代社会と学校教育の問題にも触れることによって子どもの学習権を守り、生きる力を育むことに関わる今日的な教師像について考えたい。			
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け）・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 教職・教員という職業の性格や意義、そして仕事の内容や特徴、専門性、保護者や地域の人々との関係さらには教育行政制度との関係等を学ぶことによって、広く他面的な視点から教職・教員を見つめることが可能になり、独善的な教育実践に陥ることを避けることができる。 教育の専門家にふさわしい恒常的な職業能力の向上に努める方法と意欲を身に着けることができる			
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教員免許状を有する職業人としての教職の意義を考え、教師の仕事や役割、職務内容(研修、服務および身分保障などを含む)など、教職の世界についての歴史、制度、実態などを理解し、教職に関する意識を高めることによって、教職を志す自らの適性を判断して進路選択に資する機会・情報等を提供する。			
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 板書を丁寧にする。			
〔教科書〕 使用しない			
〔指定図書〕 使用しない			
〔参考書〕 講義の中で必要に応じて紹介する			
〔前提科目〕 なし			
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) レポートおよび出席状況。 欠席が全講義回数の三分の一(5回以上)を超える場合は単位認定の対象外とする			

〔評価の基準及びスケール〕 A:80 点以上 B:70～79 C:60～69 D:50～59 E:50 点未満	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 本講義が、学生の皆さんにとって、教職・教員を目指す強い動機付けになり、学校教育に対する理解が深まるように精一杯努力して講義する。	
授業スケジュール	
第1回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 講義の方針と授業の進め方 ・教職課程で学ぶことの意味、「教育」に関する既成概念の打破
第2回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 教員の役割と期待される教師像 (「車いすの教師」DVD鑑賞) ・現代の教員と期待される教師像
第3回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 法律にみる教員 ・教員の身分、任命権者と県費負担教職員、服務規程、勤務条件と職員団体
第4回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 日本の教員養成の歴史 ・戦前、戦後の教員養成
第5回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 欧米の教員養成の歴史 ・アメリカ、イギリスの教師養成
第6回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 学校と教員 ・学校教育の機能と限界、学校経営と組織・管理(チーム学校)、学級経営、校務分掌
第7回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 学習指導と学力問題 ・PISA 調査と学力問題

第8回	テーマ(何を学ぶか): 内 容:子ども理解と生徒指導(定時制教師のDVD鑑賞) ・生徒理解と生徒指導、進路指導
第9回	テーマ(何を学ぶか): 内 容:生涯学習社会と学校 ・生涯教育論の経緯と学校
第10回	テーマ(何を学ぶか): 内 容:学校、家庭、地域社会の「協育」 ・地域社会の教育力と“協育”の精神、新しい公共と自律した個人の育成
第11回	テーマ(何を学ぶか): 内 容:教育基本法と教育委員会制度 ・日本国憲法・教育基本法、教育行政と教育委員会
第12回	テーマ(何を学ぶか): 内 容:学習権と義務教育 ・ユネスコの「学習権宣言」と受教育権、義務教育の歴史
第13回	テーマ(何を学ぶか): 内 容:教員の資質能力の形成と研修制度 ・教師像の変遷、教科指導と教科外指導
第14回	テーマ(何を学ぶか): 内 容:教員としての適性と進路選択 ・教員としての適性・資質
第15回	テーマ(何を学ぶか): 内 容:まとめ ・教員養成の理念と教員養成制度の改革動向
試 験	レポート